

して、日本の靴事情の改善に自ら励んでいく時代になりました。

## 靴本体も日本人用に

この新しいインソールは、日本人用の標準的なフットベッドとして開発されましたので、このインソールが入る靴であれば、ドイツ製の靴にインソールを入れ替えて快適に履くことも可能です。しかし、本当に大切なことは、このインソールを入れる靴本体が、私たちが重視する機能性を備えた上で日本人用の木型で作られ、日本人になじむ表示で供給されることです。

幸い、今回、私たちに協力して下さった福岡県の靴メーカー(H.P.S.)の安部嵩さんは、すでに、独自のコンセプトで開発されたインソールが入る高品質の健康靴を供給されており、それらをベースに私たちの望む、ドイツ製に劣らない機能性を有した靴の開発にも着手して下さいました。整形外科靴技術に基づく各種の機能を有した多様な靴を、日本のメーカーが日本人のために開発・製造する、という私たちの夢に一歩近付いたのです。

## インソールが入る多様な靴

すでに安部さんの開発された靴は、このかんエルデでも「足底板の入る靴」としてご紹介していますが、「足にぴったりフィットする」と、多くの方からご好評をいただいています。これらの靴は、すべて新しいインソールを入れることができますので、トラブルの軽度な方や、足の健康のために予防的という方には、それだけで十分に満足して頂けると思います。それほど、安部さんの靴は良くできているのです。

これから、徐々に、このインソールに対応させて機能性を高めた新しい靴が供給されることとなりますので、大いに期待したいと思います。

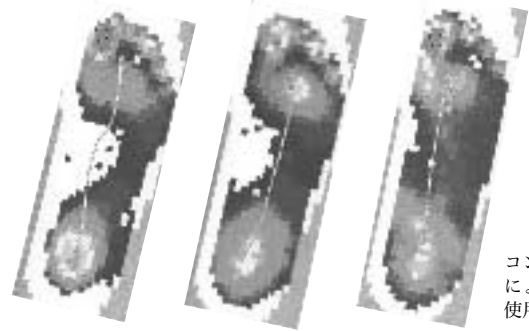
日本人標準のフットベッドを備えた靴が、ショットシューズ以外にもたくさん供給され始めます。ショットシューズの履き心地の良さはもちろんですが、新しいタイプもぜひお試し下さい。

## 補正すれば自分仕様のインソール

さらに、今回の新しいインソールは、それをベースに一人一人の足の状態に合わせて補正もできますので、足底板のような耐久性や多機能性は無理ですが(その代わりに、通気性と吸湿性を備えた)、入れ替えのできる自分仕様のインソールとして使うこともできます。また、そのように補正したインソールをドイツ製の靴に入れることによって、自分用にカスタマイズされた優れた素材のフットベッド付きの靴として履くこともできます。

新しいインソールを活用して、従来よりも手軽に、多様な、良質の健康靴を提供できるようになるでしょう。

このインソールは、6月下旬から、徐々に提供できる予定ですので、ご期待下さい。



コンピューター足圧計による各種インソール使用時の荷重圧の比較

## 白木仁先生が啓発書を出版されました

筑波大学体育科学系助教として活躍されている白木仁先生は、エルデの靴の大ファンです。先生は、本郷での開業直後からの会員で、ご自分の靴や足底板はもちろん、オリンピック選手をはじめ先生が指導されているスポーツ選手の皆さんを連れてこられ、足底板を注文して下さいることもよくありました。

先生ご自身は、足の健康のために足底板を愛用して下さいるだけでなく、特にGEOの靴の素材の良さと機能性を「世界中どこへ行ってもこんな靴はない」と絶賛されて、履き続けて下さっています。

この白木先生が、最近、一般向け啓発書『潜在能力を引き出す力』を出版されました。

先生は、これまでもストレッチやトレーニング等々に関する一般向けの入門書なども出されていましたが、今回ののはかなり趣が違います。ご自身のフィジカルコーチやトレーナーとしてのご経験で得たものが、「現代の企業組織のなかにも『応用』できる」のではないかとの思いで著わされた、いわば「部下を使う立場にいる人」や「子どもを教育する立場にいる人」など、他人の能力を引き出し高めたい方たち向けの啓発書です。

先生は、巨人の工藤公康投手をはじめ、プロゴルファーの片山晋呉さんや村口史子さんなどトップ選手のフィジカルコーチを務められ、また、長野五輪ではスピード・スケート日本代表のヘッドトレ

## 『潜在能力を引き出す力』

日本実業出版・1,400円(税別)

ナー、現在はシンクロナイズドスイミング日本代表のトレーナーと、常に日本スポーツ界の第一線で、まさに縁の下の力持ちとして活躍されています。そこでの先生の体験、エピソードなどを交えた読み物ですので、たいへん興味深く読みやすく、それでいて端々に含蓄のある味わい深いご著書です。ぜひ、ご一読下さい。

先生は、アテネ五輪を前に、世界中を飛び回っていますが、そんな中でも、貴重な時間をエルデのために取って下さっています。前回のニュースでもお知らせしましたように、筑波大学の体育総合実験棟(SPEC)へは毎月通っていますが、早速プロゴルファーの方に足底板を提供したり、各種のスポーツそれぞれに適合した靴や足底板の特徴などについて勉強させていただいたりしています。

なかでも、私たちが開発した新しい日本人標準のインソールについては、個人用にカスタマイズされた足底板との比較も含めて、各方面からの検証を進めて下さることになりました。これは、特別にスポーツ用というものではありませんので、人間の合理的な歩行のための道具との観点から、歩容分析などにお詳しい応用解剖学がご専門の足立和隆先生もご協力下さることになりました。

白木先生はじめ、筑波大学の先生方のお力添えを得て、私たちの技術をより多様な方面に活かしていきたいと思っています。